

한국체험여행 韓国体験旅行



第2回韓国体験旅行 旅行記 【1日目】

ある日、学院の壁に一枚の紙を発見！

「無理してでも行きたい！第2回韓国体験旅行」

無理して行くところってどんなところ？と、魅力的なコピーにちょっぴりほぼえんだ12人が、3月に行われた「第2回韓国体験旅行」に参加しました。

さて、今回は木浦、黒山島、紅島とソウルを3泊4日でめぐるスケジュールです。

では、みなさんもごいっしょに出発！



1日目 空港へ集合！

成田空港からソウル行き第1便の飛行機で出発です。

朝早い集合ですが、目覚めはばっちり！

仁川国際空港に到着後、すぐに移動。

今日は、ソウルからKTXに乗って3時間20分ほどかかる木浦

〈목포〉に宿泊します。KTXとは、韓国的高速鉄道の略称で日本だと新幹線。2004年4月1日に開業し、現在2路線あります。私たちが乗

ったのは、ソウルと木浦を結ぶ湖南線で亀山駅から発車します。ちなみに、釜山行きのKTXはソウル駅利用です。

改札がない？

韓国にも改札はあります。でも、個人が切符を持ち、改札機を通ることはしませんでした。特急の場合はあまり関係がないみたいです。席についたら、車掌さんが確認にいらっしゃいましたので、まるでヨーロッパで列車の旅をしているような感じがします。



◆クイズ！時速000KMの秘密

世界に速さを誇るKTX。最高営業時速は何キロでしょう？

ヒント：日本の在来特急は約130KM、東海道新幹線は260KM、飛行機は約950KMです。

「300KM!」「はい、正解!」

最大速度は330KMにもなるのだとか。今回は、その証拠となる写真を押さえました。動いている車内で、ピタリ300KMの写真を撮るのは難しいんですよ。

◆ちょっとブレイク♪

KTXには、飲み物やお菓子の自動販売機があります。

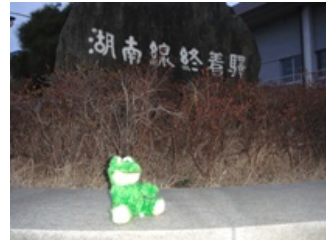
買い求めたのは練羊羹。韓国でも「羊羹」〈양갱〉って書くんですね。では、読みやすいように横書きでサービス！今日の羊羹は気合がはいっています。ちょっとわかりにくいのですが、販売機前面のガラスにびたっと！くっついてしまいました。受験生の方はぜひこの写真を印刷してお持ちください。

「落ちない」羊羹です。

木浦駅に到着

木浦駅は、湖南線終着駅です。

「終着駅」〈중착역〉[중창녁※発音]の響きがいいですね。改札をぬけると地方都市独特のしびめ雰囲気を感じられます。



木浦はどんなところ？

韓半島の南西端、全羅南道にある港町で海産物が有名な街です。とてもおだやかな黄海に囲まれています。古くは中国貿易で栄え、日本と深い縁があり、旧市街には、日本の建築様式の建物が現存しています。

また、日本とゆかりが深い「愛生園」があることをご存知ですか。愛生園は80年ほど前、尹致浩（ゴン・チホ）さんが設立した孤児院がはじまりです。妻は日本人の田内千鶴子さん。夫と生き別れになった後もその意思を継ぎ、韓国に留まり生涯を孤児に捧げました。今、お2人の働きは、韓国と日本で福祉財団として発展しています。ちなみに「愛生園」は、今回宿泊したホテル裏手の高台にありました。25万人の都市である木浦には、多くのホテルがあることと思います。その中から、このホテルに決まったことに、日本人として深く感じるがありました。

ちなみに、韓半島の東にあるのは、東海、南は南海、そして西は「黄海」です。



ホテルまでの送迎は幼稚園バスです。

座席も小さくて可愛い♪ おしりを斜めに押し込んで出発！

どうしてこのバスかというと、ホテルと幼稚園の経営が同じだから。

現在、園児募集中！

ボディには「新安幼稚園 園児募集」の文字・・・

ずいぶんと董のたった園児が乗っていますが、募集に影響はないかしら。



旅の楽しみは名物料理 その(1)タコ

ホテルで荷物整理をした後は、名物料理を食べにいきましょう♪

木浦のある全羅南道は、「食は全羅南道にあり」と紹介されるほど、食文化の豊かなところですよ。

まずは、木浦！

木浦の名物を知っている方～ すぐに答えられる方はかなりの韓国通ですね。

港町である木浦には、おいしい海の幸がたくさんあります。代表するひとつは、ナクチ手長ダコです。



ホテルおすすめのお店で食事

これは、ヨンポタン〈연포탕〉手長ダコのスープです。ナクチポッチポックム〈낙지볶음〉タコの炒め物とナクチビビンバ〈낙지비빔밥〉もいただきました。同じ食材でこんなに豊かなメニューが出来上がるんですね。ピビンバには、先ほどまで生きていたタコがはいっています。まぜるたびに、むにゅむにゅ。

季節によっては、まだ小さなタコを丸ごと箸に巻きつけた踊り食いもできるそうです。ワイルドなお食事をご希望の方はこちらをどうぞ。



旅の楽しみの中に、地方のお酒に出会うこともあります。

焼酎は、韓国で好まれているお酒で、地方ならではの味があり、地元焼酎のシェアはとても高いそうです。

これは、全羅南道のイブセジュ〈잎새주〉（製造元：宝海）。葉っぱのお酒という意味です。

ソウルでは、日本でもおなじみのチャミスル〈참이슬〉（製造元：眞露）が有名で、韓国国内のマーケットシェアNo.1とのことですが、木浦では1度も見ることはありませんでした



ちなみに、これはコカコーラです。少々巻き舌で発音すると韓国風です。



水槽には、生きたタコがいっぱい！

国内産〈국내산〉と書いてあります。ほかの食堂では、肉の産地表示がありました。韓国でも、食材の産地を大切に考えているんですね。

ところで、韓国の方はお花が好きなのでしょうか。真剣に食事をしている私たちの後ろをご覧ください。壁紙がメルヘンチックな花柄。



夜は市街をお散歩してからホテルへ。

イルミネーションは、木浦の観光名所のひとつ。左右に交差する道は、およそ1000M。時間によって光が変化する美しいこの通りは、地元の方にも親しまれています。

美しいイルミネーションアーケードの入り口には、全羅南道名物のひとつ、エイの形が。

한국체험여행 韓国体験旅行



第2回韓国体験旅行 旅行記 【2日目】



2日目 旅の朝は早い

黒山島へ向かうフェリーが早朝にでるので、朝早く集合。
昨日はじめてみた風景も、すでに見慣れてリラックス。
日本と同じ、東アジアの韓国。この安心感は、他の国では味わえない
気がします。

ここは、フェリーの港です。

朝日がキラキラしていて、私たちの道行きを照らしてくれているみたい
です。

旅の目的地はこんなところ

さてこれから行く場所を説明しましょう。

まず、お手持ちの旅行ガイドを取り出してください。必ず「韓国」の
でお願いします。ソウルだけのガイドも多いので要注意です。

地図をひろげると、左上にソウル、右下に釜山があるのではないで
しょうか。その地図の左下に木浦はありましたか。そこが昨日の宿の場
所。その左側に黒山島〈흑산도〉、紅島〈홍도〉があります。見つかっ
た？本当ですか？それはすごい！

見つからない人手を挙げて～もちろん島ですよ～

では、お教えしましょう。木浦の横、地図から畳の目2つくらいはみ出した海の中にあります。冒険
心がそそられる場所ですよ。



黒山島に着きました

フェリーに乗って、2時間30分くらいすると黒山島に到着。黒山島は、1981年に国立公園に指定さ
れた多島海海上国立公園内〈다도해해상국립공원〉にあり、つばきで有名。名物料理は「ホンオ（エイ）」
です。島に着くと、まずエイの看板がお出迎え。盛んに名物ですよ～食べて～とアピールしていま
す。これは食べるしかありませんね。



ご夫婦で営まれている食堂で昼食。（写真右上）

家庭的なお店で、優しいご主人が私たちの目の前で、あわびなどをさばいてくださっています。

旅の楽しみは名物料理 その② ホンオの魅力

突然ですが、ホンオを召し上がったことはありますか。写真は、ホンオフェイのお刺身です。エイ
は、海から上がってすぐには調理せず、じっくり発酵させてからいただきます。

味をひとことという「面白い味、おほほ」でしょうか。鼻に抜けるアンモニア臭が好きな方も多い



ようですが、こればかりは、お口にいられてみない方には説明できません。ソウルでも食べることができるそうですので、ご旅行の際は、ぜひお召し上がりください。

そのときは、お皿からざ〜っと豪快に箸ですくってどうぞ！ホンオの魅力が口いっぱい、ついでに全身の毛穴から吹き出るといいます。きっと！大満足です。



看板み〜つけた♪ その3

〈흑산디젤〉黒山ディーゼル

韓国語を学んでいる方は、この看板をみて「디젤」ってなにかなと思ったはず。これは、すでに使われていない表記で、現在では「디젤」。韓国で、ハングルができたのは14世紀半ばごろ。現在まで幾度か文字の整理が行われています。日本も明治政府がひらがなの表記の統一をはかっていますので、どこの国も同じです。

地方に行くと、まだこのような古い文字を使っているところがありますね。この文字は、韓国の方がご覧になってますます珍らしいそうです。

黒山島の周りを遊覧船でめぐってから、紅島へ。

島の安全を守る若くてとても頼もしい2人の警察官の方と一緒に写真を撮りました。



紅島の魅力

フェリーで、紅島に到着。多島海海上国立公園内にある1700以上の島々の中で紅島は、「韓国人なら一度は行きたいところ」といわれる憧れの場所です。島全体が天然記念物に指定されており、石ころひとつ、草一本も持ち帰ることはできません。住んでいる方も観光客も大切にしている自然がこの島の魅力の一つです。

ちなみに呼び名の由来は、大地が赤みを帯びていて、太陽に照らされると島が赤く見えるから。季節はずれの港町はちょっとさみしくて、でも日差しがやわらかくて、日常を忘れてしまいそう。



美しい夕日を見に行こう！

韓国で西側に位置する紅島は、日の入りの時刻が少し遅めです。夕日の美しさが有名だとうかがい、宿のご主人に時間を確認して、夕日が見える小学校裏手の展望台に行くことにしました。

この日は、曇りがち。そのため夕日は、水平線にミルクキャラメルがとろけるように沈んでいきました。とてもやさしい光は、日頃の疲れもとろけさせるようです。

じっと見つめると時を忘れてしまいそうになりませんか。

天気のよい日は、鮮やかな太陽が真っ直ぐな水平線にずっと沈んでいくのを見ることができるのでしょうか。それは今度の楽しみにしようかな。



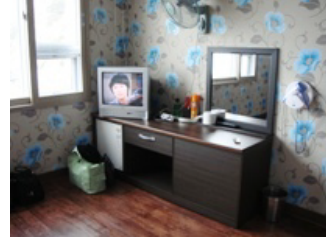
夜は宿でアットホームなおもてなし。

テーブルの上には、タイやスズキのお刺身、ほや、あわびにさざえと海産物祭りです。

魅力満載！あつあつの海鮮なべ〈매운탕〉もあります。海が与えてくれる豊かな恵みに感謝していただきました。



宿のお部屋。全室オンドル部屋で、手足が伸ばせてとてもリラックスします。オンドルを考えた韓国って本当に素敵！
ここでも壁紙にお花が満開。青いポピーがおしゃれ～。



太陽が没した後、夜がとても静かで長いことに気がつきます。
島の息使いまで聞こえそうな静かな時間。
すでに半分過ぎた旅を振り返るとともに、私たちがあたたかく迎えてくださった宿の方々のことを思
うかべると、必ず訪れる別れのさみしさも心にあふれてきました。
小さき島の夜。

今日、私たちの周りにいる全ての方が大切に思えました。
〈오늘 우리 주변에 있는 모든 사람들이 더욱 더 소중하게 느껴졌어요.〉

한국체험여행 韓国体験旅行



第2回韓国体験旅行 旅行記 【3日目・4日目】

3日目 遊覧船観光はおススメ

朝は、宿で野菜たっぷりのお食事をいただき、荷物を預けて観光に出発です。

昨日の黒山島に引き続き、遊覧船に乗りました。

紅島をぐるっと2時間30分で巡るコースでは、さまざまな形の岩と出会えます。ちなみに、ここはナポリではありません。船から見た、紅島の港です。斬新な色使いのセンスに感服！



◆クイズ！この岩なんだろう？ 突然ですが、岩につけられたタイトルをあててみてください♪



《問題1》 ヒント：動物園で人気！お母さんも長いんです。



《問題2》 ヒント：台所にあつて、ピーピーなく泣き虫さんもいます。



《問題3》 ヒント：江戸時代、朝鮮通信使が宿泊した浅草寺では、漁師が海から引き揚げたものを奉っています。

◆答え 問題1_ぞう 問題2_やかん 問題3_観音様

みなさんは何問あたりましたか？

では、正解数で、あなたがわかる！相性占いもサービス。

3問：すばらしい。韓国の方の感性とピッタリです。

1～2問：よくできました。韓国に行っても、この話題で盛り上がる事ができるでしょう。

0問：独創的なイメージが出来る人！韓国向きです。今度旅行にごいっしょしましょう。

昨日も乗った遊覧船。ふたつの違いは、観光客の人数と観光客をあきさせないエンターテインメントプログラムのあるなしでしょうか。紅島は、乗船中に独特の生ナレーションや写真の撮影サービスなど、渋いアトラクションが用意され、観光客も多いです。

これは遊覧の途中で漁船が船に近づき、魚を目の前でさばくアトラクション。ぷりぷりの白身魚と焼酎で、朝から乾杯。ちなみに漁船は、毎年、入札で決めているそうです。



船でのんだ、松の葉のお茶〈솔잎꿀차〉。(写真左) ヘアトニックに砂糖を入れて、お湯で割った味。大スキ！観音様とごいっしょに（写真右）こちらの写真だと観音様のお顔立ちがわかりますね。



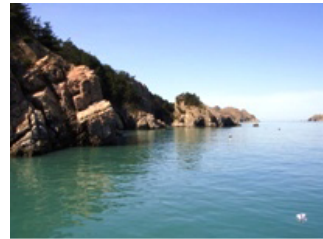
海を見つめて

遊覧船から目に映る風景。その美しさは、まるで大きなギャラリーの中にいるみたいです。

紺碧の海に浮かぶ、島々は芸術作品。まるで彫刻家が青く光る海にあわせて、彫りこんだよう。今しか見られない渾身の作品が、太陽の光とともに姿を変えて、私たちにその美しさを見せてくれます。

紅山島は、まだリゾート開発の進んでいないところで、そこで暮らす人の素朴さと真紅に染めあげられた大地の美しさがとても心にしみました。

もっとお話したかった島のみなさん、もっと感じたかった自然。また今度はなかなかないけれど、この美しい風景と宿で受けた愛情を忘れないでいたいです。



そして、木浦にお別れ。KTXに乗って、再びソウルへ。

久しぶりのソウルでは、チームにわかれて夕食をいただきました。

牛肉チームのご飯の様子です。ちょうど、WBCの「韓国対日本」の試合が行われていました。牛肉をほお張りながら、日本と韓国の両方を応援している私たちです。



◆看板み〜つけた♪ その4 (番外編)

〈옷에 밴 고기냄새 놓고 가세요!〉

服に染み付いた肉の臭み 置いて行ってください。

焼肉屋さんの出入り口にある機械。



ボタンを押すとミントの香りの空気が出てきます。焼肉の香りを消してくれるとか。効果のほどは???

◆4日目 ソウルの風を感じて

フライトまで自由行動。書店、美術館、放送局、散策など、ソウルで



しか感じるこのできない韓国をおもいおもいに楽しみました。

教保文庫（書店）に行ったメンバーは、日本語のできる店員の方の丁寧な対応と長い時間一緒にいてくださったことに、とても感動したとのこと。

人との出会いに最後まで感激。そして解散。

旅の終わりに

韓国内を縦断する第2回韓国体験旅行は、参加者ひとりひとりが韓半島的美しさに身をゆだねるものとなりました。そこでいただいた多くの感動や恵みは、今もじっくりと心に響いています。

この旅を振り返り、敬愛する先生方と旅で出逢ったすべての方々、そして見守ってくださった皆さまにあらためて感謝いたします。

